

飼料作物

奨励品種の紹介



令和8年4月
宮城県農政部畜産課

1. オーチャードグラス

品種名	早晩性	生育特性	越冬性	越夏性	播種期	播種量 (kg/10a)	出穂期	栽培上の注意点
アキミドリⅡ	極早生	早春の生育速度が早い。草型は中間～直立型で草丈は中位、葉枯れ性病害特に黒さび病に強い。	○	◎	9月	2～3	5月上旬	早春の生育速度が速いので、放牧用として利用する際は、早期の放牧開始を行う。
ポトマック	早生	草型は直立型で草丈は中位、葉は細く濃緑色である。黒さび病、雲形病にやや強く、うどんこ病などの葉枯れ性病害に弱い。	○	○	9月	2～3	5月上中旬	
ナツミドリ	早生	草型は直立型。秋の収量および季節生産性が良い。夏から秋の葉枯れ病害を受けやすい。	△	◎	9月	2～3	5月上中旬	
まきばたろう	中生	草型はやや直立型で、さび病、雲形病、うどんこ病などの葉枯れ性病害に優れた抵抗性を示す。	○	○	9月	2～3	5月中旬	

2. イタリアンライグラス

品種名	早晩性	生育特性	春播性	耐寒性	耐雪性	播種期	播種量 (kg/10a)	出穂期	栽培上の注意点
ニオウダチ	早生	2倍体の極短期利用型(1回刈り)品種。草型は直立型で耐倒伏性に優れている。収量はワセアオバに比べやや劣るが、機械収穫でロスが少なく、作業性も良い。	○	○	○	春:3月下旬～4月中旬 秋:9月下旬～10月中旬	2～4 (遅播きや春播きは5割増し)	春播き:6月上旬 秋播き:5月上旬	標高250m以上の地域での栽培は不適。
ワセアオバ (イタリアンライグラス 農林3号)	早生	2倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。草型は直立型。越冬前および早春の生育が旺盛である。	○	○	○	春:3月下旬～4月中旬 秋:9月下旬～10月中旬	2～4 (遅播きや春播きは5割増し)	春播き:6月上旬 秋播き:5月上旬	施肥量はやや多めに設定する。
タチワセ	早生	2倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。草型は強い直立で耐倒伏性に非常に優れ、マメ科との混播が可能。	○	△	○	春:3月下旬～4月中旬 秋:9月下旬～10月中旬	2～4 (遅播きや春播きは5割増し)	春播き:6月上旬 秋播き:5月上旬	標高400m以上の地域での栽培は不適。播種は早めに行う。
はたあおば	早生	2倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。草型は直立で耐倒伏性に優れ、刈り遅れでも倒伏は少ないが適期刈りに努める。	○	△	○	春:3月下旬～4月中旬 秋:9月下旬～10月中旬	3～4 (遅播きや春播きは5割増し)	春播き:6月上旬 秋播き:5月上旬	根雪期間が60日を超える地域での栽培は避ける。
クワトロ-TK5	早生	4倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。雪腐病が問題となる積雪地でも収量が確保できる。	△	◎	◎	9月下旬～10月中旬	2～3	5月中旬	根雪期間80日程度までの地域で栽培に適する。
うし 想 い	早生	2倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。乾物率が高く、乾燥調整が容易。	△	○	○	9月下旬～10月中旬	2～3	5月上旬	
タチユウカ	早生	2倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。草姿はやや直立型で、倒れにくく乾きやすいので収穫・調整しやすい。	△	○	○	9月上旬～10月中旬	2～3	5月上旬	
タチマサリ	早生	2倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。草丈高く、広葉で葉部割合が高い。草姿は直立型で耐倒伏性に優れ、刈り易く、乾きが早い。	△	○	○	9月上旬～10月中旬	2～3	5月上旬	
ナガハヒカリ (イタリアンライグラス 農林13号)	中生	4倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。乾物率が総じて高く、刈取適期が広い。草型は直立で耐倒伏性はやや強い。	△	○	◎	9月上旬～10月中旬	3～5	5月中旬	耐雪性に優れるため、県北部や標高250m以上での栽培にも適する。
タチムシャ	中生	2倍体の短期利用型(1～2回刈り)品種。草型は直立型で耐倒伏性に優れる。	○	○	△	春:4月上旬～4月下旬 秋:9月下旬～10月下旬	2～4 (遅播きや春播きは5割増し)	5月中旬	
タチサカエ	中生	4倍体の中長期利用(2～3回刈り)品種。葉部が広いため、収量性が優れている。	△	◎	○	9月～10月	3～4	5月中旬	
マンモス イタリアンB	中晩生	4倍体の中長期利用型(2～3回刈り)品種。草型はやや直立型。耐倒伏性はやや強い。後期番草の収量性はやや低い。	◎	◎	○	春:3月下旬～4月中旬 秋:9月中旬～10月中旬	3～4 (遅播きや春播きは5割増し)	春播き:6月中旬 秋播き:5月中旬	
ジャイアント (ティラ)	中晩生	4倍体の中期利用型(2～3回刈り)品種。草型はややほふく型で太茎である。	×	◎	○	9月上旬～10月中旬	3～5	5月下旬	
エース	晩生	4倍体の極長期利用型品種。草型はややほふく型。太茎で草丈が高い。越夏性に優れ、後期番草の収量も比較的高い。	×	○	◎	9月中旬～10月中旬	3～4	5月下旬	1～2年利用が可能。
アキアオバ3	極晩生	4倍体の極長期利用型品種。草型はほふく型。茎が太く、耐倒伏性は強い。越夏性に優れ、越夏後の収量も比較的高い。	×	○	◎	9月上旬～10月中旬	3～4	5月下旬	1～2年利用が可能。

3. チモシー

品種名	早晩性	生育特性	越冬性	越夏性	播種期	播種量 (kg/10a)	出穂期	栽培上の注意点
クンプウ	極早生	葉型は直立型。再生力に優れ2～3番草で多収。	○	○	9月	1.5～2.5	5月下旬	平坦部での栽培には適さない。▼標高250m以上の地域での栽培に限る。
クライマックス	中生	葉型は直立型。葉量多く、耐倒伏性に優れている。刈取後再生、病害抵抗性は中程度。	◎	△	9月	1.5～2.5	6月中旬	平坦部での栽培には適さない。▼標高250m以上の地域での栽培に限る。

4. ペレニアルライグラス

品種名	早晩性	生育特性	越冬性	越夏性	播種期	播種量 (kg/10a)	出穂期	栽培上の注意点
ヤツカゼ2	中生	4倍体系統で越夏性、冠さび病・網斑病抵抗性に優れ、年次・季節による収量の変化が少ない。	◎	○	8月下旬～9月下旬	2～4	5月中～下旬	採草・放牧兼用または放牧利用。播種翌春は生育旺盛なので、刈遅れ・放牧開始遅れに注意すること。
フレンド	晩生	4倍体。草型は中間型。草丈は高い。年次による収量変化は少ない。冠さび病の抵抗性は中、耐雪性は強。	◎	△	8月下旬～9月下旬	3～4	5月下旬	標高400m以上の地域での放牧利用に適する。
夏ごしペレ	晩生	草型は中間型。ペレニアルライグラス品種の中で非常に高い越夏性を有しているため、収量性・持続性に優れる。	◎	◎	9月上旬～9月下旬	2～3	5月下旬	放牧・採草利用可能だが特に放牧適正が高い。採草する場合は倒伏しやすいので穂ばらみ期に刈り取る。

5. リードカナリーグラス

品種名	早晚性	生育特性	越冬性	越夏性	播種期	播種量 (kg/10a)	出穂期	栽培上の注意点
パ ラ ト ン	中 生	低アルカロイドで嗜好性高い。草丈が高い。比較的後期番草の収量高く、永続性も良。	○	○	8月下旬 ~9月下旬	2~3	6月初旬	刈高を高めとする。特に春の刈り遅れは避ける。

6. シロクローバ

品種名	区分	生育特性	越冬性	越夏性	播種期	播種量 (kg/10a)	栽培上の注意点
フ ィ ア	中葉型	小葉はやや大きめで、ほふく茎密度がやや高い。耐病性に優れ、春及び夏の生育が良好である。永続性はマキバンロにやや劣る。	◎	○	9月	2~3	オーチャードグラス早生種との混播に適する。

7. ソルガム

品種名	早晚性	分類	生育特性	耐倒伏性	播種期	播種量 (kg/10a)	栽培上の注意点
スダックス (S X 11)	中 生	スーダン型 ソルガム	稈長は3メートル近くまで達する。茎は中太で汁性。初期生育は遅いが、多収である。	△	5月上旬~7月中旬	散播:3~4 条播:2~3	低草丈での刈取りは、硝酸態窒素濃度が高い場合があるので行わない。
甘味ソルゴー (S G - 1 A)	晩 生	ソルゴー型 (高糖)	稈長は2.5メートル前後で、茎は太く汁性。初期生育は遅いが、糖含量は高く多収である。	○	5月中旬~6月下旬	散播:2~3 条播:1~2	7月播種では収量が少なくなるので、できるだけ6月下旬までに播種する。
秋 立	晩 生	ソルゴー型	稈長は短稈(2.2メートル前後)で、茎は汁性。高消化遺伝子bmr-18(褐色中肋)を持ち、茎葉部の繊維の消化性が高い。	◎	5月中旬~6月下旬	条播:2	7月播種では収量が少なくなるので、できるだけ6月下旬までに播種する。

8. トールフェスク

品種名	早晚性	生育特性	越冬性	越夏性	播種期	播種量 (kg/10a)	栽培上の注意点
ウ シ ブ エ	中 生	草型は直立型。越夏性、永続性、収量性に優れる。	△	◎	9月上旬~10月上旬	2~3	

8. スーダングラス

品種名	早晚性	生育特性	耐倒伏性	播種期	播種量 (kg/10a)	栽培上の注意点
シュガースリム	早 生	茎数が多く、細茎であり、乾物収量が高い。	△	4月下旬~7月中旬	8~10	刈取りは草丈が1.5~2メートル(出穂始め頃)とする。2回収穫が可能。
ヘイスーダン	早 生	茎数が多く、細茎であり、乾物収量が高い。	△	4月下旬~7月中旬	6~8	刈取りは草丈が1.5~2メートル(出穂始め頃)とする。2回収穫が可能。

9. ライムギ

品種名	早晚性	生育特性	耐寒性	播種期	播種量 (kg/10a)	出穂期	栽培上の注意点
キングライ麦	早 生	草丈が高く、茎数が多い。春の草勢が優れている。耐倒伏性は比較的強い。	◎	9月下旬 ~10月中旬	8~10	4月下旬~5月上旬	出穂始めまでに利用する。
春 一 番	早 生	草丈が高く、茎数はやや少ない。初期生育は普通。耐倒伏性は強い。	◎	9月下旬 ~10月中旬	6~8	4月下旬~5月上旬	出穂始めまでに利用する。
ハルミドリ	早 生	草丈が高く、茎数が多い。初期生育は普通で、春の草勢が優れている。耐倒伏性がやや劣る。	◎	9月下旬 ~10月中旬	6~8	4月下旬~5月上旬	出穂始めまでに利用する。

10. エンバク

品種名	早晚性	生育特性	耐寒性	播種期	播種量 (kg/10a)	出穂期	栽培上の注意点
は え い ぶ き	極早生	草型は直立型で草丈はやや低く、葉重割合が小さい。乾物収量が高い。	△	春:3月下旬~5月上旬 秋:8月中旬~9月上旬	6~8	春:6月上中旬 秋:11月上中旬	晩夏播種では年内中に利用する。
アウネストリゴサ ヘイオーツ	早 生	茎数は極早生系の2倍と多く、茎は細い。草丈は高いが、晩夏まきでは出穂せず草丈は高くない。初期生育はやや劣る。	△	春:3月下旬~5月上旬 秋:8月中旬~9月上旬	4~6	春:6月中下旬 秋:出穂しない	

11. 飼料用イネ

品種名	早晚性	生育特性	栽培上の注意点
夢 あ お ば	中生の早	主食用品種(まなむすめ)より出穂が3日早く、収量は同等又はやや高い。耐倒伏性は「極強」で(まなむすめ)より強い。葉いもちの真性抵抗性は「Pita-2、Pib」である。	①漏生初による発芽・混植の可能性があるので注意する。 ②いもち病抵抗性は、いもち病のレースの変化によって大きく変化することがあるので、ほ場で病斑を見た場合は防除を行うこと。 ③収量低下を及ぼす早期落水は避ける。
リーフスター	極 晩 生	「ホシアオバ」より出穂が18~30日遅く、乾物収量は同程度。茎葉割合が極めて大きく、高温年を除いて籾はほとんど稔実しない。耐倒伏性は「強」でホシアオバより強い。葉いもちの真性抵抗性は「Pia」である。	ホールクローブサイレージ専用品種である。
たちあやか	極 晩 生	「リーフスター」より出穂期が15~29日早く、乾物収量は1~2割高い。穂部割合が非常に小さいことから、稲体糖分含有率が高く、サイレージ発酵品質が優れる。耐倒伏性は「極強」で「リーフスター」より強い。葉いもちの真性抵抗性は「不明」である。	①ホールクローブサイレージ専用品種である。 ②収穫は、稲体糖分含有率が高くなる出穂後約50日以降が適する。また、穂部割合が非常に低いため、籾が登熟した後に収穫しても家畜への影響は少ない。

○飼料用イネをダイレクト収穫する場合、草丈が高いため作業効率が大幅に低下する場合があります。このため適切な収穫機を導入するなど品種の選定においては収穫体系まで考慮する必要があります。

12-1. 飼料用トウモロコシ (サイレージ利用型)

品種/系統名	商品名	早晚性	メーカーRM	生育日数(注1)	収量性(注2)	耐倒伏性	耐病性					栽植本数(本/10a)	栽培上の注意
							ごま葉枯病	すす紋病	紋枯病	黒穂病	根腐病		
KD421	ゴールドデントKD421	極早生	90	95	◎	○	○	○	○	○	○	8,000	
P9027	パイオニア93日	極早生	93	100	○	○	○	○	○	○	○	7,500	
SL0746	ネオデント・エスパス95	極早生	95	103	○	○	○	○	○	○	○	8,000	
34N84	パイオニア108日	早生	108	114	○	○	○	○	○	○	○	7,200	
北交72号	きみまる	早生	110	107	○	○	○	○	△	○	○	7,500	
長交C949号	タカネスター	早中生	113	117	◎	○	○	○	○	○	○	7,500	茎葉消化性が高い。
P2088	パイオニア118日	早中生	118	113	○	○	○	○	○	○	○	7,200	
9F016	Z-corn118	早中生	118	116	○	○	○	○	○	○	○	7,000	赤カビ耐性に優れる。
SH5702	スノーデント118R	早中生	118	116	○	○	○	○	○	○	○	7,000	
P2105	パイオニア123日	中生	123	118	◎	○	○	○	○	◎	○	7,000	
SH2821	スノーデント125T	中生	125	121	◎	○	○	○	○	◎	○	7,000	総体収量が高い。
SH4812	スノーデントSH4812	中生	125	110	◎	○	○	○	○	◎	○	6,300	
1F020	Z-corn125	中生	125	115	◎	○	○	○	○	◎	○	6,300	
P2307	パイオニア125日	中生	125	119	◎	○	○	○	○	◎	○	6,300	赤カビ耐性に優れる。

12-2. 飼料用トウモロコシ (子実利用型)

品種/系統名	商品名	早晚性	メーカーRM	生育日数(注1)	収量性(注2)	耐倒伏性	耐病性					栽植本数(本/10a)	栽培上の注意
							ごま葉枯病	すす紋病	紋枯病	黒穂病	根腐病		
DKC4444	ゴールドデントKD460	極早生	95	98	○	○	○	○	○	○	○	8,000	
P9027	パイオニア93日	極早生	93	100	○	○	○	○	○	○	○	7,500	
SL0746	ネオデント・エスパス95	極早生	95	103	○	○	○	○	○	○	○	8,000	
34N84	パイオニア108日	早生	108	114	○	○	○	○	○	○	○	7,200	

(注1) 生育日数は、各品種の試験期間における発芽～黄熟中期までの日数の平均値。品種により試験期間が異なるため上記の生育日数による品種間の単純な比較ができないので、おおよその目安の日数です。

(注2) 収量性：乾物生産量

種苗会社等問い合わせ先 (五十音順)

カネコ種苗(株) 仙台支店 TEL 022-236-0333
 サナテックシード(株) 盛岡営業所 TEL 019-641-8213
 全国酪農業協同組合連合会仙台支所 TEL 022-221-5381
 タキイ種苗(株) 東北支店 TEL 022-238-6111
 雪印種苗(株) 白石営業所 TEL 0224-24-5318

自給飼料生産に係る問い合わせ先

大河原農業改良普及センター TEL 0224-53-3496
 巨理農業改良普及センター TEL 0223-34-1141
 仙台農業改良普及センター TEL 022-275-8374
 大崎農業改良普及センター TEL 0229-91-0726
 美里農業改良普及センター TEL 0229-32-3115
 栗原農業改良普及センター TEL 0228-22-9437
 登米農業改良普及センター TEL 0220-22-6127
 石巻農業改良普及センター TEL 0225-95-7612
 気仙沼農業改良普及センター TEL 0226-25-8069
 大河原家畜保健衛生所 TEL 0224-53-3538
 仙台家畜保健衛生所 TEL 022-257-0921
 北部家畜保健衛生所 TEL 0229-91-0729
 栗原地域事務所畜産振興部 TEL 0228-22-2487
 東部家畜保健衛生所 TEL 0220-22-2349
 東部地方振興事務所畜産振興部 TEL 0225-95-1438
 畜産試験場草地飼料部 TEL 0229-72-3101
 畜産課草地飼料班 TEL 022-211-2852